

つながりカフェ

障害の有無や年齢差に関係なく「つながり」を楽しむ集まり



私たちは、スポーツや交通事故、病気などで、首の神経を痛めたため、手足の不自由さや体温の調節が難しいなど不便はあります。しかし、車椅子ユーザーとして、仲間とともに「より重度な者が地域で安心して暮らせる社会」を目指して、1982年に「京都頸髄損傷者連絡会」を設立し、2004年には、NPO 法人格を取得して、当事者団体として活動しています。

趣旨

私たち障害当事者は、地域で生活しているものの、私たちに対して「障害のことはわからない、どのように接していくのかわからない」といった思いがあるのか、地域住民の方々との距離を感じてしまっています。地域のイベントに積極的に参加するなど、地域住民の方々と接する機会を持つようにはしていますが、地域住民の方々とのつながりを感じるようになるまでには至らず、地域生活において孤立感のある障害当事者は少なくありません。

そこで、会としては、障害の有無や年齢差に関係なく「つながり」を楽しむ集まりを企画することにしました。地域住民の方々とともに継続的に開催することで、障害当事者と地域住民の方々とのつながりを深め広げていくことを目的としています。

開催日時：10月12日（日）12:00から15:30

開催内容：障害当事者である連絡会会員と参加者のグループで焼きそばなどを作り交流

立場の違いがわかるロールプレイ

ダンス ピンクチャウビック

見た目では分かりにくい障害のある人たちを中心としたヒップホップダンスチーム

開催場所：愛隣館 地域交流室

参加費用：無料

NPO 法人 京都頸髄損傷者連絡会の活動



近鉄向島駅の無人化に反対

地域住民の方々とともに会として参加。近鉄電車側との話し合いの末、エレベーター側にも精算機が設置され、わざわざ改札を出入りする不便さは解消したが、話し合いは引き続き継続される予定。

新年恒例会



他団体と伏見酒蔵見学



災害対策機器体験説明会



その他の活動

行政交渉

学習会

シンポジウム

機関紙発行

相談支援

病院・施設訪問等

主催：NPO 法人 京都頸髄損傷者連絡会 協力機関：京都市南部障がい者地域生活支援センター「あいりん」
申込み・問合せ先：企画担当 木村善男 mail:wing010wing@gmail.com TEL:080-3106-8299